

作成日：2025年6月25日

学校関係者評価報告書

2024年度

自 2024年4月 1日
至 2025年3月31日

専修学校 厚生労働大臣指定・製菓衛生師養成校
日本菓子専門学校

目的

学校関係者評価委員会(以下、当委員会)は、日本菓子専門学校(以下、本校)の自己評価において、客観性・透明性を高め、学外の関係者より客観的・専門的な助言を得ると共に、相互の連携を促し、学校運営の改善への協力を促進する事を目的として、当委員会を組織した。

当委員会は、本校の自己評価を資料とし、関係教職員との意見交換等を通し、本校の学校運営・教育活動等について、検証および評価、助言を行う事を目的として実施している。

当委員会の委員は、本校の教育理念を理解し、菓子業界に精通した学外関係者を校長が選考し、委託をしている。

報告書は、2024年度の自己評価表を資料として、当委員会として評価および助言をまとめ作成したものである。

学校関係者評価委員

三浦 秀一 「日本菓子専門学校 校長」

福本 圭祐 「日本菓子専門学校 副校長」

黒田 寛 「日の本穀粉 株式会社 最高顧問」

高澤 勉 「和菓子処 八洲 社長」

寺澤 光弘 「寺澤製菓 株式会社 社長」

倉田 博和 「株式会社デイジイ 社長」

1. 教育理念・目標について

教育理念「菓子業界の期待に応える人材づくり」

①現状における課題点

- ・ これからの様々な変化に対応できるように、常に最新の情報を得るよう努力し、その時代に合った教育、カリキュラムを考えて頂きたい。その為、業界と常に意見、情報交換が必要である。
- ・ 教育理念、人材育成、将来構想など学生への周知は出来ていると考えます。今後の社会の変化や、業界の要望を情報収集し、学校教育の方向性を考える事が必要であると思う。
- ・ 社会人としての基本を指導。授業を通し、挨拶・返事・礼儀の指導も大切である。
- ・ 楽しさからやりがいを持って頂き、上司や先輩、同僚との人間関係も大切にして頂く事も大事。

②学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望

- ・ 製菓製パン業界のニーズの多様化に対応し、SDGsを考えた教育を取り入れて頂きたい。
- ・ 遅刻・早退など多い人へは指導を行い、学生自身が自己管理もしっかり出来るよう指導を続けてほしい。

2. 学校運営

①現状における課題点

- ・ コロナも落ち着き徐々に入学者数も回復してきてはいるが、留学生の入学者がコロナ以前と比較し戻り切っていない、原因を考え対応が必要である。
- ・ 運営方針、事業計画、人事、給与に関する規定および策定は整備されており問題ないと考えます。

②学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望

- ・ 様々な物資の物価高騰により、常に節約、材料の見直しを考えなければならない中、授業の質を落とさず、予算を抑える努力を引き続きお願いしたい。
- ・ 今まで以上に教育部と事務部の情報共有、連携を深めてスムーズな組織運営を目指して頂きたい。
- ・ コンプライアンスを確保することを念頭に置き、組織のバランスを考え、より良い学校運営を行って頂きたい。
- ・ 質の向上を常に目指して頂きたい。

3. 教育活動

①現状における課題点

- ・多様化・専門化する業界を考え、各科ごとに授業内容等をさらに充実させ、業界に多くの役立つ人材、辞めない人材を輩出するよう努めて頂きたい。
- ・教育理念に沿った教育活動の実践が取り組まれていると思う。今後も履修規定や教職員への研修等を実施し、理解を深めて時代に即した教育活動に努めて頂きたい。
- ・毎年繰り返しの授業だが、世の中最新の技術や原材料も変化しているため、時代に合わせた内容を学ぶことも大事である。

②学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望

- ・中間、若手職員の研修など勉強の機会を増やし、将来的に優秀な職員を育て、質の良い授業を行えるようにお願いしたい。

4. 学修成果

①現状における課題点

- ・学生の職業観の変化、企業の求める人材など、進路指導担当者も常に対応できるようにリサーチするように努めて頂きたい。
- ・引き続き求人企業、業界関係団体、同窓会と綿密な連携を進め、卒業生の状況を把握し、今後の学校教育の改善につなげて頂きたい。

②学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望

- ・求人企業との良好な関係性を保つためにも、学生への教育、指導を充実させ、より良い人材を育て、学生が自信を持って社会へ出られるよう育てて頂きたい。
- ・製菓衛生師合格率の高水準維持を継続して頂きたい。
- ・現場の現状を教える授業や研修も取り入れ、現場の空気や雰囲気事前に知っておく経験ができるとよい。
- ・学期の前半は目標を持たせ、後半は現実とのギャップを埋めるような指導も大切と考える。

5. 学生支援

①現状における課題点

- ・留学生にはビザの問題もありハードルもまだ高いが、出来るだけ日本で就職できるように、更なる支援を進める。
- ・学生支援体制は、概ね整っているものと考えます。学生に対して、引き続き支援内容の周知をお願いしたい。
- ・留学生に対し、卒業後の就職支援もお願いしたい。
- ・学生の中には精神的に社会への不安を抱える者もいるため、心のケアも必要と考える。

②学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望

- ・精神面、心のケアなども行えるように専門のカウンセラーの導入、常勤職員の心理カウンセラー研修などを考えていただきたい。
- ・昨今、心の病を抱える人が増加しているように感じます。学校としてこの様な人への配慮が少しでも行えたら良いと考えます。
- ・留学生に対し、卒業後の就職をサポートを行う。

6. 教育環境

①現状における課題点

- ・火災時の避難訓練に関しては例年実施し対応していることは素晴らしいです。震災などの防災、危機管理マニュアルなども作成し、備えを万全にして頂きたい。
- ・引き続き、学生、教職員に対し、防災のための意識を再確認し、より良い環境の維持をお願いしたい。

②学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望

- ・校舎や学内設備の老朽化が進んでいる為、点検し箇所によっては早急の修繕が必要である。
- ・人名確保を第一に適切な対応が出来るよう指導をお願いしたい。

7. 学生の受け入れ募集

①現状における課題点

- ・ 学生募集活動は、適正に実施されているようである。SNSなどより時代に合った広報活動を考え、留学生に対しては国内のみならず、海外に向けての広報活動が課題である。
- ・ 少子化が進む中、努力し動員をあげており、とても良いと思う。引き続き学校周知活動をお願いしたい。

②学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望

- ・ 高校への広報活動と同様に、日本語学校に向けても更なる広報活動を望む。
- ・ SNSを活用した学校周知はとても良いと思う。一方SNSの短所も理解して運用する必要もあろうかと思う。

8. 法令等の遵守

①現状における課題点

- ・ 各職員が専修学校設置基準など理解し、遵守をお願いしたい。
- ・ 専修学校としての適正な運営がなされているものと思う。引き続き情報収集と変化への対応をお願いしたい。

②学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望

- ・ 専修学校設置基準など適正な運営がなされているようである。
- ・ 引き続き情報漏洩等無きよう対策をお願いしたい。

9. 国際交流

①現状における課題点

- ・留学生に関しての受け入れ、管理など適切に行われているようである。
- ・留学生に配慮した体制整備が引き続き必要と考える。支援の方法について検討をお願いしたい。
- ・フランスやドイツなど姉妹校との交流も更に発展させるよう努めて頂きたい。

②学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望

- ・留学生会のあり方、内容などを今一度検討し、更に留学生の為の会になるようお願いしたい。